平成29年度　事務事業評価シート（詳細）　※平成28年度に実施した事業を評価しています

基本情報

事務事業名	敬老マッサージサービス									
担当部署	福祉部		高齢者いきがい課						事業コード	6
所属長	渕名　淳一								事業区分	ソフト事業
予算事業名	生きがい対策								新規・継続	継続
予算事業コード	会計	10	款	03	項	01	目	05	事業開始年度	昭和53年度

1．事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等（Plan）

第四次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）

基本目標(章)	第2章	住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち	法令による実施義務	義務ではない
施策	5	高齢者福祉の推進	根拠となる法令	なし
取組施策	3	介護予防・生活支援の推進	その他実施根拠（条例、要綱等）	川越市敬老マッサージサービス事業実施要綱
関連事業	なし			

2．事業の目的と概要（Plan）

実施主体	一部委託
対象（誰・何を対象に）	4月1日現在、市内に住所を有する70歳以上の方（当該年度末日において70歳に到達する方を含む）
目的（対象をどのようにしたいか）	敬老を趣旨として、あん摩、マッサージ、指圧、はり又はきゅうの施術を行い、もって高齢者の健康の増進と福祉の向上を図ることを目的とする。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	4月中旬に対象者全員に無料利用券（年1回分）を郵送する。 利用する場合は、市指定の治療所で利用券を提出して施術を受ける。

3．前年度に立てた計画（Plan）

平成27年度の事務事業外部評価における利用率に対する事業効率性や、事業目的に対する事業の必要性に関する指摘を受けて、他市照会等の調査を実施すると共に、関係機関と協議を進め、事業の在り方について検討を進める。

4．取組実績（Do）

平成27年度の事務事業外部評価の結果を受け、全国中核市（46市）及び県内人口20万人以上の市（7市）あてに実施状況調査を実施。また、同調査結果を基に、事業の業務委託先である「川越市鍼灸師会」及び「公益社団法人　埼玉県鍼灸マッサージ師会」と、事業の実施方法等改正に向けて協議を行った。
出張敬老マッサージを実施（平成28年度は、市内公共施設5会場で計7回実施）。

H28　対象者数：　64,089人

5．実施にかかるコスト（Do）

（単位:千円）

(1) 支出の部	26年度	27年度	28年度	29年度(見込額)	備考
人件費　A	734	735	747	747	
正規職員（1年間の従事人数）	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	
臨時職員（1年間の従事人数）	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
事業費　B	19,387	18,862	18,816	22,429	
需用費	333	351	380	412	
役務費	2,977	3,045	3,173	3,640	
委託料	16,077	15,466	15,263	18,377	
総支出（A＋B）	20,121	19,597	19,563	23,176	

(2) 収入の部

国庫支出金	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
使用料・手数料	0	0	0	0	
その他特定財源	0	0	0	0	
一般財源	20,121	19,597	19,563	23,176	
総収入	20,121	19,597	19,563	23,176	

6．指標による分析（Check）

⑴ 活動指標

評価指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度（予定）	単位当たり費用（下段は前年度）
対象者数	人	61,119	61,630	64,089	65,640	0.31
指標の定義・説明	利用対象者数					0.32
利用率	%	11.4	10.9	10.4	9.8	1890.14
指標の定義・説明	利用率					1796.24

⑵ 成果指標

評価指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度目標値	将来目標値	単位当たり費用（下段は前年度）
利用者数	件	6,990	6,724	(目標) 7,570 (実績) 6,636	7,990	31年度 7,990	2.95
指標の定義・説明	無料利用券の利用件数						2.91
				(目標) (実績)		年度	#DIV/0!
指標の定義・説明							#DIV/0!

7．評価（Check）

項目	評価	評価コメント及び課題等
必要性	市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか	
	B	高齢者の生活環境の変化に伴い、価値観も多様化している。また、対象となる高齢者のニーズにも適合していないため、利用率が低い状況である。
有効性	施策の目標の達成に貢献しているか	
	C	第四次川越市総合計画の取組施策（№5-3）に間接的に関係する。
達成度	設定した活動・成果指標の目標を達成しているか	
	C	目標には達していない。 目標に対する利用実績：87.7%
効率性	民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担（補助）の適正化が図られているか	
	D	現在は、利用者負担を設けていないが、利用者の自己負担を導入することにより、経費の削減が図られる。
総合評価	D	対象者や事業方法等の見直しを検討する必要性がある。

8．今後の方向性及び今後の取組（改善策など）（Action）

今後の方向性	改善
29年度	対象者の利便性を図るため、出張敬老マッサージの会場を増加し事業を実施。併せて、事業の見直しを継続する。
30年度	今後の事業の在り方について方向性を決定する。

【参考】

⑴ 比較参考値（他市での類似事業の例など）

全国中核市の7割近くで、同趣旨の事業が実施されており、有効と考えられる実施事例もみられた。しかし、利用率は全国的に低く、高い場合でも10%程度までに納まってしまう状況。また、多くの自治体で自己負担を設けている。

⑵ これまでの見直しや改善等の経過

高齢者の人口増加に伴い、平成22年度から利用券の交付を、それまでの2回から1回へ変更した。